

国土交通省政策会議（第21回）議事要旨

1. 日時：平成22年4月15日（木）17：00～18：00

2. 場所：衆議院第二議員会館 第4会議室

3. 出席者

【国土交通省】馬淵澄夫副大臣、藤本祐司大臣政務官

4. 議題

○高速道路の再検証結果と新たな料金割引について（2回目）

○国土交通省成長戦略会議について（重点項目）

5. 議事要旨

（1）挨拶

（2）議事要旨

○質疑

（3）出席議員からの主な意見

- ・ 今回の料金見直しのように、造る論理でなく、使う側の視点での見直しというのには正解だと思う。しかし、上限2,000円というのは余りにも安くしすぎではないか。たとえば、上限以降を半額の料金とするような料金体系を考えてもよいのではないか。
- ・ 現行は、対距離料金なので大口割引を導入しているものであり、上限料金制となるのであれば、大口割引はすぐにやめてもよいのではないか。協同組合からの意見があるとは思いますが、正当な割引を受けているものではない。
- ・ 今後の料金政策の中で、障害者割引は1割とは言わないが2割ぐらいにしてもいいのではないか。
- ・ 現在の案では、来年度の通勤割引がどうなるか分からない状態であり、住民が不安に思っている。
- ・ 元々無料化すると言っていたのに、値上げになっている。上限を2,000円にする意味は分かるが、法律を再考頂きたい。
- ・ 物流業界、特に都市部近郊のトラックは値上げになり、強い反発を受けている。
- ・ 5,000円以下の利用者が88%おり、その人達にとっては値上げとなる。こういった前提をどのように考えて料金を設定しているのか。
- ・ 物流業界とどういう話をされたのか、また国民の声をどう聞いたのか。

- ・ 四国へ渡るには、3,000円となっており、往復6,000円になってしまう。四国には大きな影響を及ぼすため、見直して頂きたい。
- ・ 段階的値下げではなく、段階的値上げになり、小規模のトラック業界には大きな打撃となる。無理矢理やることになれば、問題が多い。
- ・ 土日1,000円に集約されている理不尽な割引制度を平準化するという考えは賛成である。
- ・ 公共事業の削減がなされている中で、高速無料化は6,000億の要求に対して、5,000億円削減されたが、今回の制度により無料化から値上げという風潮になっている。民主党はどっちに向かっているのか。
- ・ これだけの制度変更であれば、発表前にもっと議論を尽くし、色々な意見を聴くべきではなかったのか。
- ・ 財源が限られている中で、公共事業も18.5%の削減が行われたが、段階的な無料化に向けて、来年度の予算要求はしっかり行うというメッセージを発信すべきである。
- ・ 通勤割引などは、民営化した時のコスト縮減で行ったものであり、議論のすりかえである。
- ・ 段階的無料化の過程であると言われたが、無料化していくと、地方で言うてよいか。検証してダメでしたとは説明できない。
- ・ 今回の新料金制度は、民主党に対する信頼を損なわせている。
- ・ 観光地域などプラスの面もあるが、影響を受ける人のことも考えるべきである。
- ・ 鉄道・フェリー・高速バスなど公共交通機関に対する配慮について説明が必要である。
- ・ フェリーも含めた交通基本法はどういうものになるのか。
- ・ 無料化を掲げておいて、約一兆円の値上げをしたということに対して、どう説明するのか。
- ・ 西瀬戸自動車道は、島で生活している人にとっては生活道路である。生口島から本土に行くには、新料金では、現状1,300円だったものが、1,700円に上がり、理解できない。
- ・ 国民からは、分かりやすい制度ではなく、せこい制度だと言われている。
- ・ 昨年12月に、高速道路の整備について必要なものは建設すべきとの意見が党からあったが、それは新直轄の1,500億～2,000億を回す話である。利便を外環、名古屋2環に充てるのはやりすぎである。

- ・ 財源が無いからと言っているが、これでは無料化ができないのではないか。それであれば、無料化の旗を降ろすのではないか。
- ・ 国土交通委員長として、断じて受け入れられない。
- ・ フェリーを使って四国に入っている人は限られている。本四についても他の高速と同じ料金にしてほしい。
- ・ 資料を見ると、料金割引の財源について、2.3兆円から1.2兆円に減っているが、これは国民に1兆円負担させるとしか見えない。激変緩和という言葉についても、来年はもっと値上げになる、と読める。また、資料に、段階的無料化の言葉がない。
- ・ 政府与党一体の中での会議とは思えない。いつも決定された後の事後的な話しばかりである。この件は、国民に影響する話であり、今のプロセスでは納得できない。政策会議を事前に議論する場にしてほしい。

～以上～